はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は，管理機の正しい取扱い方法・定期的な点検及び整備について説明してあります。

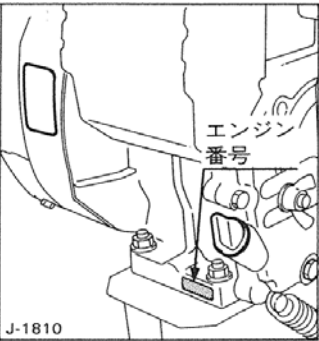
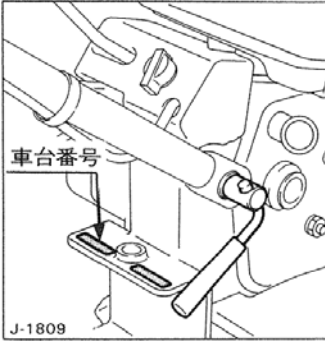
本機のすぐれた性能を十分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただき，十分理解してから御使用くださるとともに，日常の保守点検・整備・給油などを十分に行なって末長くご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，わからないことがあったとき取出してお読みください。

なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取入れておりますので，お手元の管理機と，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

サービスと保証

この管理機には，保証書が添付してあります。詳しくは保証書を御覧ください。
なお，御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は，お買いあげいただきました販売店・農協・幣社支店又は㈱クボタアグリに，それぞれ「御相談窓口」を設けておりますのでお気軽に御相談ください。
その際 ⑴管理機名称と車台番号，
⑵エンジン名称とエンジン番号，
⑶部品御注文の際は，
部品名称とコードNo.（純正部品表参照）
を合せて御連絡ください。

車台番号
J-1809

エンジン番号
J-1810

◆安全鑑定適合番号

クボタTMA31……………902018
クボタTMA31-MA……1002024

主要諸元

型 式		TMA31		TMA31-MA
区 分		—	—	—
呼 称		TMA31	TMA31-U	—
機体寸法	全長（mm）	1385		1535
	全幅（mm）	585		
	全高（mm）	815		835
	輪距（mm）	140〜290		
重量（kg）		42（タイヤなし）		44（タイヤなし）
エンジン	名称	クボタGS130−2T	クボタGS130−2T−U	クボタGS130−2TR
	形式	空冷4サイクル1気筒立形ガソリンエンジン		
	総排気量（cc）	130		
	出力/回転数(PS/rpm)	2.3/1800（最大出力3.4）		
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量（ℓ）	2.0		
	点火方式	電子点火		
	始動方式	リコイル式	リコイル式（防水カバー付）	
タイヤ		標準なし		
主クラッチ方式		ベルトテンション式		
変速段数	前進	2段		
	後進	1段		
車軸回転速度（rpm）		前進1 72，前進2 120，後進39		前進32 70，後進23
PTO回転数（rpm）		——		1026

ご注意

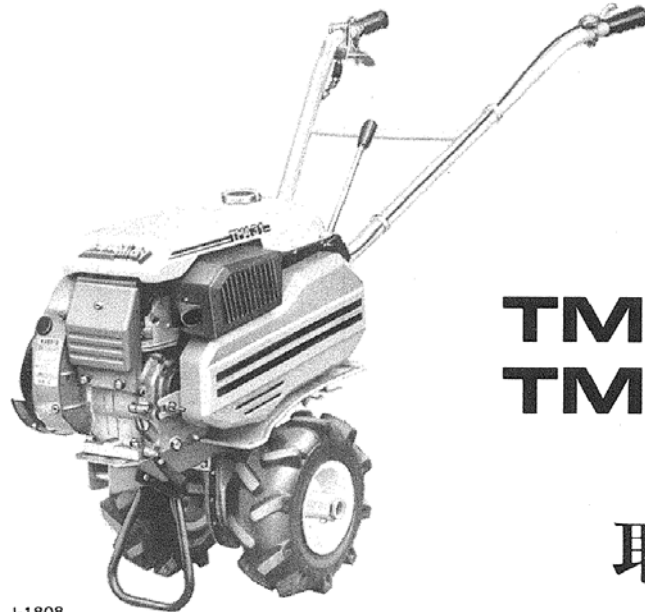
★トレーラ走行はできません。

小型特殊自動車の認定を受けておりませんので，一般公道でのトレーラ走行はできません。

クボタ管理機

J-1808

TMA31
TMA31-MA

取扱説明書

【注】 この写真は3.50-5タイヤ，ホイールチューブ400，ユニバーサルヒッチを装着した状態です。

ご使用前に必ずお読みください

株式会社クボタ

本社：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 〒556-91 電(06) 648-2111
東京本社：東京都中央区日本橋室町3丁目1番3号 〒103 電(03) 3245-3111
北海道支社：札幌市中央区北3条西3丁目1番地44(札幌富士ビル) 〒060 電(011) 214-3111
東北支社：仙台市青葉区本町2丁目15番11号 〒980 電(022) 267-9000
中部支社：名古屋市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル) 〒450 電(052) 564-5111
九州支社：福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命博多ビル) 〒812 電(092) 473-2401
札幌支店：札幌市西区手稲東3北3丁目2番地2 〒063 電(011) 662-2121
仙台支店：名取市田高字原182番地の1 〒981-12 電(022) 384-5151
東京支店：浦和市西堀5丁目2番36号 〒338 電(048) 862-1121
大阪支店：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 〒556-91 電(06) 648-2111
岡山支店：岡山市宍甘275番地 〒703 電(0862) 79-4511
福岡支店：福岡市東区和白丘2丁目2番76号 〒811-02 電(092) 606-3161
堺製造所：堺市石津北町64番地 〒590 電(0722) 41-1121
宇都宮工場：宇都宮市平出工業団地22番地2 〒321 電(0286) 61-1111
筑波工場：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地 〒300-22 電(029752) 5112
枚方製造所：枚方市中宮大池1丁目1番1号 〒573 電(0720) 40-1121
堺部品センター：堺市築港新町3丁8番 〒592 電(0722) 45-8601
宇都宮部品センター：宇都宮市平出工業団地38-16 〒321 電(0286) 63-6336
北海道部品センター：北海道札幌郡広島町字大曲186-37 〒061-12 電(011) 376-2335
筑波部品センター：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地 〒300-22 電(029752) 2293
枚方部品センター：枚方市中宮大池1丁目1番1号 〒573 電(0720) 40-1797
株式会社クボタアグリ東北
秋田事業所：秋田市寺内字大小路207-54 〒011 電(0188) 45-1601
仙台事業所：宮城県名取市田高字原182-1 〒981-12 電(022) 384-5151
株式会社クボタアグリ東京
東京事業所：浦和市西堀5-2-36 〒338 電(048) 862-1121
新潟事業所：新潟市上所上1-14-15 〒950 電(025) 285-1261
株式会社クボタアグリ大阪
金沢事業所：石川県松任市下柏野町956-1 〒924 電(0762) 75-1121
名古屋事業所：愛知県一宮市観音町1-1 〒491 電(0586) 24-5111
大阪事業所：大阪市浪速区敷津東1-2-47 〒556-91 電(06) 648-2111
株式会社クボタアグリ中四国
米子事業所：米子市米原570 〒683 電(0859) 33-5011
岡山事業所：岡山市宍甘275 〒703 電(0862) 79-4511
高松事業所：香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3 〒769-01 電(0878) 74-5091
株式会社クボタアグリ九州
福岡事業所：福岡市東区和白丘2-2-76 〒811-02 電(092) 606-3161
熊本事業所：熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1 〒861-41 電(096) 357-6181

V.■.14−29.20.AK 品番 61191−6521−6

Kubota

標準付属品

品名	数量/台	備考
10−12スパナ	1	
14−17スパナ	1	
ドライバ	1	+，−差換え式
プラグボックス	1	
じょうご	1	
油差し	1	
取扱説明書	1	
純正部品表	1	
保証書	1	
納入品安全説明書	1	
安全注意ポスタ	1	
安全憲章コンプ	1	安全五憲章入り

特別付属部品

品番	品名	備考
61441−8340−2	バランスウエイト完備	下記①②の部品とボルト・ナット
61441−8351−1	①ウエイト支持棒	
61441−5121−3	②バランスウエイト	5kg
61041−1714−3	ホイルチューブ400	チューブ長さ 138mm
61041−8371−3	ホイルチューブ600	チューブ長さ 238mm
61041−8372−3	ホイルチューブ800	チューブ長さ 338mm
61041−8374−1	マルホイルチューブ6	チューブ長さ 187mm，PC用アタッチメント装着用
61041−8375−1	マルホイルチューブ2	チューブ長さ 97mm，PC用アタッチメント装着用
61441−8380−4	ユニバーサル2段ヒッチ完備	延長ヒッチ，草地・湿田でのロータ作業
61041−8376−1	スリーブ	スリーブ長さ 50mm，カルチ車輪関係車軸取付け用
91013−1017−1	3.50-5タイヤカンビ	
62671−5260−4	ユニバーサルヒッチアッシ	(62182−5260−4)にても可
61192−8310−1	高速換えプーリアッシ	φ100プーリ，特Bベルト(34)，ボルト

安全に作業するために

安全運転のために，次のことがらを必ず守ってください。

耕うん機・管理機 ✚ 安全五憲章

1．道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは，必ずロータリの回転を止めます。
2．農道を走行するときは，スピードを落とし路肩に注意します。
3．ほ場の出入り・車への積降ろしは，上りは前進，下りは後進で行ないます。
4．バックをするときは，スピードを緩め背後の障害物に注意します。
5．機体の点検・調整・整備は必ず，エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

1．はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。
そして機械を点検し，異常箇所がないか確めてから使用してください。

2．燃料の給油とエンジンの始動

⑴燃料補給をするときは，
- 必ずエンジンを停止して行ないます。
- 燃料をこぼさない。
- こぼしたときは，きれいにふき取ります。
- 火気厳禁。特に夜間は裸火の下で給油しない。

⑵密閉した車庫内で，長時間エンジンをかけたままにしておくと空気を汚し，ガス中毒を起す危険があります。
⑶エンジンを始動するときは，主クラッチを切り，主変速レバーを「N」(中立)にしてから行なってください。

3．始 動

発進するときは，周囲の安全を確め機械の付近に人が近づかないようにしてください。
また，バックするときは，足元・後方をよく確めてからエンジンを低速にしてバックしてください。

4．作業中

⑴傾斜地で作業したり，無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。
⑵安全カバーなどを取外した状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。
⑶共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。
⑷作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

5．積込み・積降ろし

⑴丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。
⑵積込み・積降ろし中にトラックが移動しないように，必ずトラックのエンジンを止め，サイドブレーキを確実にかけてください。

6．走 行

⑴坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に機体が曲がることがあります。坂道では速度を遅くし，ハンドル操作でカーブを曲がるようにしてください。
⑵高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあり，必ずアユミ板を使用してください。
⑶一般道路上では，自動車に道を譲るなど交通法規・交通道徳を守ってください。
⑷踏切を渡る場合は，必ず一旦停止し，列車通過の有無を確認の上，速かに渡ってください。

7．その他

⑴次のような状態では運転しないでください。
- 飲酒運転。 ●いねむり運転
- 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき。 ●妊娠中の方。

⑵だぶついたズボンや上着など回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。
⑶点検・整備・清掃などは，必ずエンジンを止めてから取扱説明書に従い行なってください。
⑷作業中，又は作業後に高温部分(マフラなど)に触れると，ヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。
⑸機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，「取扱説明書」「納入品安全説明書」をよく読むように指導してください。

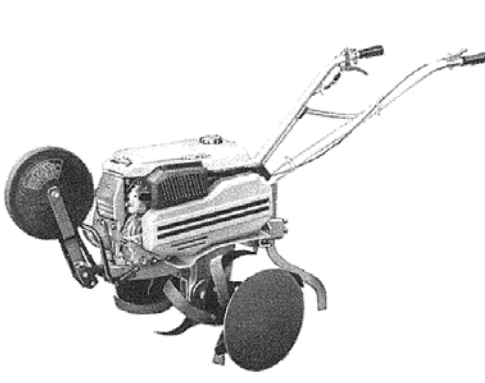
★以上，機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で **安全ポイント** として，その都度とり上げております。
更に，安全のポイントを抜粋した「安全注意ポスタ」・「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

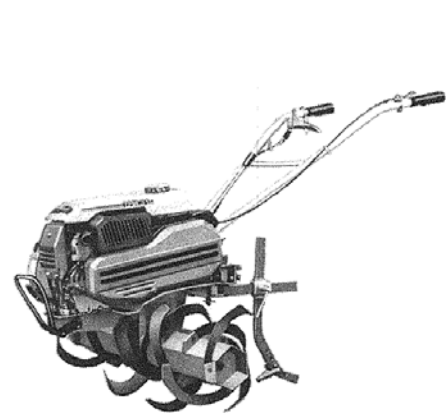
主要アタッチメント

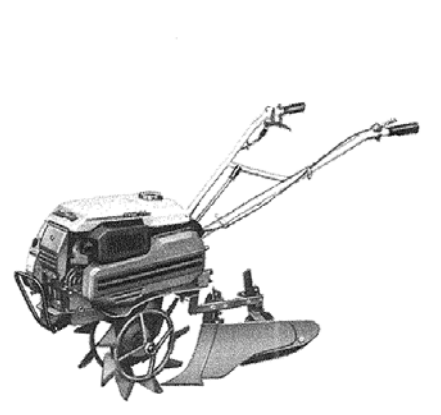
〔注〕ヒッチ幅は95mmを採用しております。

❶3.50−5チューブレスタイヤ
ホイルチューブ400
ユニバーサルヒッチ

J-1808

❷360−ナタ爪ロータ4連
移動輪
ナタ爪用抵抗棒
ユニバーサルヒッチ

J-1826

❸360角ロータ
ユニバーサルヒッチ
抵抗棒

J-1827

❹開閉培土2号(尾輪付)
380星形車輪(スリーブ付)
ユニバーサルヒッチ

J-1828

❺T2畑用差込培土
350ホークカルチ車輪
ユニバーサルヒッチ

J-1829

❻草削りカゴロータ2形
T2フリー抵抗棒2形

❼3.50−5チューブレスタイヤ
ホイルチューブ400

❽350星形車輪
RM3カセット中耕ロータリ

J-1830 J-2038 J-2039

❾350星形車輪
RM3カセット正逆転ロータリ

J-2040

❿350星形車輪
RM3サイドドライブロータリ

J-2041

〔出荷標準仕様〕

		標準	❶	❷	❸	❹	❺	❻
呼称		TMA31-A TMA31-UA	TMA31-B TMA31-UB	TMA31-C TMA31-UC	TMA31-D TMA31-UD	TMA31-E TMA31-UE	TMA31-F TMA31-UF	TMA31-G TMA31-UG
製品コード		61191-00100 61195-00100	61191-10111 61195-10111	61191-00121 61195-00121	61191-00131 61195-00131	61191-00141 61195-00141	61191-00151 61195-00151	61191-00161 61195-00161
本機		●	●	●	●	●	●	●
アタッチメント	アタッチメントコード ＼ アッシ品番	—	61191-69101	61191-69201	61191-69301	61191-69401	61191-69501	61191-69601
3.50-5チューブレスタイヤ	91013-20111		●					
ホイルチューブ400	61041-17143		●					
ユニバーサルヒッチ	62671-52604		●	●	●	●	●	
360ナタ爪ロータ	91151-42101			●				
移動輪	91315-21301			●				
ナタ爪用抵抗棒	91316-11301			●				
360角ロータ	91156-02701				●			
開閉培土2号	92223-32101					●		
380星形車輪	91033-82101					●		
畑用差込培土	92223-32301						●	
ホークカルチ車輪	91033-50611						●	
草削カゴロータ	91164-00222							●
フリー抵抗棒	91316-10181							●

		標準	❼	❽	❾	❿
呼称		TMA31-MA	TMA31-MB	TMA31-RT	TMA31-RG	TMA31-RS
製品コード		61192-00100	61191-10100	61196-10100	61197-10100	61198-10100
本機		●	●	●	●	●
アタッチメント	アタッチメントコード ＼ アッシ品番	—	61192-69101	61196-69101	61197-69101	61198-69101
3.50-5チューブレスタイヤ	91013-20111		●			
ホイールチューブ400	61041-17143		●			
350星形車輪	91033-53101			●	●	●
RM3カセット中耕ロータリ	91201-36001			●		
RM3カセット正逆転ロータリ	91201-37001				●	
RM3サイドドライブロータリ	91201-38001					●
ユニバーサルヒッチ	62671-52604		●			

運　転　装　置　の　説　明

注意
- 前進・後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。

レバーを握るとロックレバーが作用して，手を離しても戻りません。
ロックレバーを手前に引くと，レバーが戻って主クラッチが切れます。

安全ポイント
- 傾斜地，狭い場所で作業する場合や後進するときなど，ハンドルが持上がり危険ですので，主クラッチはゆっくり操作してください。

運　転　の　し　か　た

エンジンの始動前には，必ず仕業点検を行なってください。

エンジンの始動

❶主クラッチレバーが「切」，主変速レバーが「N」（中立）の位置にあることを確認します。

❷燃料コックを開きます。

❸スロットルレバーを「高」と「低」の中間の位置にします。

❹エンジンスイッチを「ON」にします。

❺チョークレバーを「閉」にします。
- エンジンがよく暖まっているときは，チョークの操作は不要です。

❻リコイルスタータハンドルを握って，勢いよく引張ります。
- エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。

❼エンジンの運転調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。(開く)

❽２～３分間暖機運転を行なってから，作業を始めてください。

安全ポイント
(1)マフラの排気出口方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
(2)リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。
(3)エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。

エンジンの停止

❶スロットルレバーを「低」にします。

❷エンジンスイッチを「OFF」にすると，エンジンが停止します。

❸燃料コックを閉じます。

安全ポイント
- エンジン停止直後は，マフラが熱くなっていますから，手を触れないようにしてください。

車両で運搬するときの注意

■燃料コックレバーを「閉」にする

燃料コックレバーを「閉」にしないで運搬したとき，次の現象が見られます。
- 機体の振動で気化器針弁の振れ
- エンジンクランクケース内への燃料の流入
- エアークリーナへの燃料の流入

などからエンジン始動が困難な場合がありますので，必ず「閉」にしてください。

管理機を安全に調子よく長持ちさせるには

安全ポイント 給排油・点検・調節・清掃中はエンジン停止。

仕業点検（毎日始動前の点検）

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
毎日始動前に，必ず仕業点検を行なってください。

1．前日使用の異常箇所。
2．燃料は十分か。……………………1
3．エンジンオイルの量，及び汚れ。………2
4．ミッションオイルの量，及び汚れ。……3
5．エアークリーナエレメントの汚れ。……5
6．タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷。
7．各しゅう動部（主クラッチ，テンションアーム支点軸，ワイヤなど）にオイル切れがないか。……………………4
8．各部の油漏れ。
9．各部の損傷，及びボルト，ナットのゆるみ。

ならし運転（最初の10時間程度使用まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ，無理をさせないようにしましょう。

1 燃料の給油

安全ポイント
(1)給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。
(2)燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。

前スタンドを立てて機体を安定させ，給油口からこし網を通して給油してください。

燃料の種類	規定容量
自動車用無鉛ガソリン	約2.0ℓ

注意
- 燃料タンク内にゴミや水が混入しないように注意してください。

フューエルキャップの締付け方
①②の順にマークを合せて締付けてください。

2 エンジンオイル

◆給油のしかた

前スタンドを立てて，スタンドの下に台をおき，エンジンを水平にして，給油口の口元まで入れてください。

注意
- 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，販売店・農協でクボタ純オイルG20又はG30と指定の上，お求めください。(右上表参照)

◆排油のしかた

前スタンドを立てて，排油プラグを取外し，排出してください。

オイルの点検と交換表

オイル交換は，旧油といっしょにケース内のゴミも排出させるために，運転使用後オイルが暖まっている状態のときに排出してください。

項目	点検方法	交換 第1回め	交換 以後	オイルの種類	規定量
エンジンオイル	エンジンを水平にして，給油口の口元まで。	20時間使用後	50時間使用ごと	クボタ純オイル（ガソリンエンジン用）夏G30，冬G20	0.6ℓ
ミッションオイル	スタンドを立てた状態で，検油口からあふれ出るまで。	20時間使用後	年1回	クボタ純オイル（ミッション用）M90又は，M80B	1.2ℓ

3 ミッションオイル

◆給油のしかた

前スタンドを立てた状態で給油プラグを外し，検油口から油があふれるまで給油してください。

◆排油のしかた

できるだけ機体を後に傾けるようにして，排油プラグを取外し，排油してください。

4 注油箇所

オイルの種類	給油量
クボタ純オイルG30	適量

■クラッチレバー支点

■各種ワイヤ

調節金具の箇所に注油口があります。

■テンションプーリ支点軸

安全ポイント
- ベルトカバーを取外した場合は，必ず取付けてからエンジンを始動してください。

■その他のしゅう動部の注油

その他の各しゅう動部分には，オイルを適量注油してください。

5 エアークリーナの清掃

◆TMA31の場合

エアークリーナは定期的に清掃してください。
〈清掃時期〉
20時間運転ごと。
ホコリの多いところで使用した場合，1日1回又は10時間運転ごと。

❶エアークリーナの止め金具を外し，エレメントを取出します。
❷ウレタンろ過部は叩いてホコリ・ゴミなどを落とします。
❸不織布ろ過部は叩いてホコリを落とし，更に圧縮空気を内側から吹付けて清掃します。
❹ケースに付着したゴミをきれいにふき取ります。
❺エレメントは，10～15回清掃又は１年ごとに交換します。

◆TMA31-Uの場合

止め金具を外し，エレメントを取出して定期的に清掃してください。
〈清掃時期〉
50～60時間運転ごと。

❶内側エレメントは，叩いてホコリを落します。
❷外側スポンジは，白灯油で洗浄した後エンジンオイルに浸し，固く絞って使用します。
❸ポットにたまったゴミは，止め金具を外して掃除します。
❹エレメントは，６回清掃又は１年ごとに交換します。

注意
- エレメントの着脱は，風の少ないところで行ない，気化器の中にゴミが入り込まないよう注意してください。

フューエルフィルタの清掃

フィルタ内に水やゴミがたまっているときは，フィルタポットを取外し，よく清掃してください。

注意
- 取付け時，燃料漏れのないように確実に締付けてください。

使用後の清掃

使用後は，必ずその日のうちに清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部は錆びないよう油を塗布してください。
特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

長期格納時の手入れ

使用後の清掃と同じく，各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし，各部の水分を乾いた布などで十分にぬぐい取り，摩擦しゅう動部，及び塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。

(1)主クラッチレバーは「切」の位置にして，保管します。
(2)燃料は全部抜取っておきます。
(3)エンジンオイルを交換し，各部をきれいに清掃します。
(4)エアークリーナエレメントは，きれいに清掃しておきます。ゴミがこびりついて次回使用の際，清掃が困難になります。
(5)エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めておきます。
(6)カバーをかけ，湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーはエンジンが冷えていることを確認した上で，かけてください。

■燃料の抜き取り

使用後，燃料をそのままにしておくと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になることがあるので，全部抜取ってください。燃料タンク内はポンプなどを使用して抜取り，気化器内は排出ネジをゆるめて全部抜取ってください。

安全ポイント
- 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。

■PTO軸カバーの取扱いについて(TMA31-MA)

安全ポイント
- ロータリを取外したあとは，伝動軸にグリースを塗布した後，カバーを取付けておいてください。

各部の調節のしかた

安全ポイント 点検・調節・取付け・取外し中はエンジン停止。

ハンドル位置の調節

■ハンドルの上下調節

◆TMA31の場合

ハンドル締付けボルトを４～５回転程ゆるめて，お望みの高さに調節してください。

ハンドル締付けボルト
J-1809

◆TMA31-MAの場合

調節ノブをゆるめて，お望みの高さに調節してください。

■ハンドルの左右回動（TMA31-MA）

ハンドル位置は，左右にそれぞれ１段階ハンドルを回動できます。

点火プラグの調節・清掃

タンクを締付けている蝶ボルトを外し，プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃してください。
電極間隔を調節する場合は，下図の寸法に調節してください。
点検調節は６ヵ月に１回，行なってください。

0.9～1.0㎜

注意
- 締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。

使用点火プラグ	NGK　BP4HS-10 又は デンソー　W14FPUL-10

主クラッチの調節

主クラッチレバーは，運転操作の源となる重要なレバーですので，確実に断続できるように，次のことがらについて調整してください。

■主クラッチワイヤの調節

主クラッチを入れてもベルトがスリップして動力を伝達しない場合，また主クラッチを入れるとベルトが張りすぎてレバーが重すぎるような場合などは，ワイヤ調節金具でテンションプーリを調節してください。
なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後ワイヤを再調整してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具を短くする。
適正なベルトの張り	主クラッチを入れた状態でベルト中央部を指先で押えて10～15㎜たわむ程度。

■エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びてワイヤ調節金具で調節できない場合は，エンジン固定ボルト４本をゆるめて調節してください。調節後は確実にボルトを締付けてください。

注意
- エンジンを移動させる場合，主クラッチワイヤ調節金具のネジ部が５㎜位出ているようにセットしておいてください。

■新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間が約3.5㎝たわむぐらいにして，エンジン固定ボルトを締付けてください。

注意
- ベルトはプーリに掛けて調節してください。

安全ポイント
(1)調整と各部の締付けが終ってからの確認は，主クラッチを切り，エンジンを始動して，主クラッチを「入」のときベルトが作動し，「切」のときに停止するか確認してください。
(2)調整・掛換えが終ったら，必ずベルトカバーを取付けてください。